

中国・重慶の大学生、岩手の大学生とさんさ踊りを体験 日中交流センター「中国ふれあいの場 大学生交流事業」

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)日中交流センターが実施する大学生交流の一環として、8月1日より「重慶ふれあいの場」の運営学生10名が来日し、東北五大祭りのひとつである岩手県のさんさ踊りに、岩手県の大学生とともに、参加します。

日中交流センターでは、毎年日本の大学生グループから日中交流イベント企画を公募し、採用されたグループを約1週間中国ふれあいの場に派遣しています。本年3月には、岩手県立大学6名の「祭り」を題材にした企画が採用され、重慶のふれあいの場を訪れ、縁日の再現や岩手の郷土料理であるひつつみの紹介、またさんさ踊りの披露など、現地学生や一般市民との交流イベントが実施されました。



2014年3月 重慶ふれあいの場で、さんさ踊りを練習する様子

今回は3月に訪中した岩手県立大学の6名を中心に、初めて日本の大学生が受け入れ側となり、中国の学生をもてなします。日中両国の大学生が中国で一緒に練習したさんさ踊りを、本場岩手のお祭りで一緒に披露したり、地域の方々へ重慶の文化を紹介するなど、日本、中国双方向の文化の交流を行い、今後の中国ふれあいの場の活性化に役立つ経験と見聞を持ち帰ってもらいます。また学生らは被災地を訪問し、語り部による話しを通して理解を深めます。詳細につきましては、お問い合わせください。

中国ふれあいの場 大学生交流事業リターンズ 概要

【招へい期間】： 8月1日(金) ~ 8月8日(金)

【参加者】： 重慶ふれあいの場 運営学生 10名(重慶師範大学 1年2名、2年4名、3年4名)
岩手県立大学 23名

【主な訪問先】： 岩手(盛岡市、大船渡市、遠野市)、東京

中国ふれあいの場 について

日本の最新情報や日本人と接する機会が少ない中国の地方都市において、青少年層を主な対象に対日理解と交流を促進するため、日中交流センターが現地機関と共同で開設している交流の場。現在中国12都市に設置されている。「ふれあいの場」では、日本の最新情報(雑誌、書籍、映像資料等)に触れることができ、また、日本の大学生・留学生や在留邦人、現地中国人の協力を得てさまざまな日中交流イベントが行われている。

国際交流基金 日中交流センター ウェブサイト「心連心」 <http://www.chinacenter.jp/>
活動の様子や日本に留学に来ている学生たちの声を、ホームページに掲載しています。

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 日中交流センター

Tel: 03 - 5369 - 6074 / E-mail: chinacenter@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03 - 5369 - 6089 / Fax: 03 - 5369 - 6044 / E-mail: press@jpf.go.jp